

平成27年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の  
点検及び評価報告書

中能登町教育委員会

## はじめに

この報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、中能登町教育委員会が平成27年度に実施した事務事業の取り組みについて自らその状況について点検し評価を行い、金沢大学地域連携推進センター浅野秀重教授からご意見をいただき、まとめたものです。

平成28年10月

中能登町教育委員会

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目次

### I 事務の点検評価

#### 1 学校教育

(1) 確かな学力を育む教育の推進	1
(2) ふるさと学習の推進	2
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	2
(4) スポーツの振興	4
(5) 安全安心な学校づくり	5
(6) 特別支援教育の充実	6
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	8
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	11
(9) 中能登らしい学校教育の推進	11
(10) 夢プロジェクト事業	12

#### 2 児童館及び学童保育

(1) 児童館運営	13
(2) 学童保育事業	14

#### 3 学校教育の整備充実

(1) 小学校整備事業	15
-------------	----

#### 4 文化財

(1) 文化財保護事業	17
(2) 文化財管理運営	18

#### 5 学校給食

#### 6 生涯学習の振興

(1) 生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実	20
(2) 生涯学習講座の実施	21
(3) 生涯学習のつどいの実施	22
(4) 公民館活動の充実	23
(5) 青少年の健全育成	26
(6) 国際交流事業の推進	27
(7) 図書館の充実	28

<b>7 生涯スポーツの振興</b>	
（1）ジュニアスポーツクラブの充実	31
（2）地域スポーツの振興	32
（3）スポーツ施設の整備・充実	33
（4）指導者の養成と選手の育成	34
<b>II 教育委員の主な活動</b>	35
<b>III 平成27年度決算（教育委員会）の概要</b>	37

# I 事務の点検評価

## 1 学校教育

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p><b>○研究指定校及び自主研究校における研究実践の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの組織的実践推進事業（町内全小学校）               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 研究主題 「確かな学力の育成～学ぶ楽しさが実感できる授業づくり～」                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の重点：「いしかわ学びの指針 12 か条」を基盤とした取組の組織的実践を図る。</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>・能動的学習推進事業（中能登中学校） 「確かな学びと豊かな心を育み、自ら学ぶ生徒の育成～アクティブ・ラーニングの研究と推進を通して～」</li> <li>・理科教育設備整備費事業（鹿島小学校）               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 理科アシスタントを活用し、指導教員の充実を図る</li> <li>2) 理科学習の安全を図る。</li> </ol> </li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの組織的実践推進事業については、鹿島小学校を拠点校とし、鹿西小学校・鳥屋小学校と連携し、指導改善に向けての組織的体制づくりに取り組み、体制が整った。</li> <li>・能動的学習推進事業については、特に ICT 教育の啓発に努め、ジグソー法について研究を深めた。</li> <li>・理科教育設備整備費事業については、開校初年度の鹿島小学校の理科教材等の整備も含め、有効に機能した。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全て新規事業である。初年度の成果は上がったので、2 年目、さらに研究を深めていきたい。</li> </ul>
	<p><b>○小学校における英語活動の充実及び中学校における姉妹提携校との相互交流による英語教育の拡充</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手（ALT）2 名を配置 クラリサは JET プログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）で、ニコールは民間業務委託、9 月からはクラリサが任期終了で帰国したので民間業者委託でアレックスが着任した。</li> <li>1) クラリサ、アレックス（年間 200 日配置） 中能登中学校（月、火、木）、鹿島小学校（水、金）</li> <li>2) ニコール（年間 200 日配置） 中能登中学校（月、水、金）、鳥屋小学校（火）、鹿西小学校（木）</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人指導助手を活用することにより外国語の言語や文化に親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成や能力の素地を養うことができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 23 年度から外国語活動が小学校 5・6 年生で必修化され、今後ますますニーズが高まることが予想されるため引き続き充実させていきたい。</li> </ul>
	<p><b>○学力調査の実施と活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町学力テストの効果的な実施               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 小学校                   <ul style="list-style-type: none"> <li>第 1 回 9 月 11 日 2 年～6 年生</li> <li>第 2 回 2 月 9, 10 日 1 年～6 年生</li> </ul> </li> <li>2) 中学校（七尾鹿島統一到達度調査）                   <ul style="list-style-type: none"> <li>第 1 回 8 月 31 日, 9 月 1 日 1～2 年生</li> <li>第 2 回 12 月 25 日 3 年生</li> <li>第 3 回 2 月 5, 6 日 1～2 年生</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>※3 年生は七尾鹿島で実施日程をそろえた実力テストを年 6 回実施</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力テストでは町内平均と比べることで学力の水準を知ることができ、学校全体の学力向上に役立った。また町内一斉で行うことで、学級全体で頑張ろうという意識づけになり、学力全体の底上げには効果があった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力テストの内容をさらにバージョンアップさせ、今後も引き続き実施していきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) ふるさと学習の推進	<p>○地域の豊かな自然や文化・歴史遺産等の良さを学ぶための教科の新設及び郷土愛高揚の促進</p> <p>①土曜授業や総合の時間で史跡雨の宮古墳群、石動山や学校周辺の歴史文化遺産の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥屋小学校 6月13日 七尾城跡資料館(6年生) 能登国分寺</li> <li>・鹿西小学校 5月30日 能登上布会館 雨の宮古墳(6年生) 7月4日 能登上布会館 石動山(5年生)</li> <li>・鹿島小学校 6月13日 雨の宮古墳(6年生) 院内勅使塚古墳 9月19日 滝尾日輪舎 9月19日 石動山(5年生)</li> </ul> <p>②「中能登町子どもふるさと検定」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学5年生対象</li> <li>・実施日 平成27年9月25日</li> <li>・受験者 187名, 合格者数 147名</li> <li>・合格率 (78,6%), 全問正解者数 144名(77%)</li> </ul> <p>③社会科副読本の作成(小学3、4年生対象)</p> <p>『わたしたちの中能登町』 『わたしたちの中能登町 資料編』 (文化財、名所、観光地等掲載)</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡などの歴史文化遺産の見学やふるさと検定をとおして、町の良さを再認識し、愛着を持つことができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史文化遺産の見学やふるさと検定を引き続き実施し、今年度、作成した社会科副読本を利用しさらに、理解が深められるように努めたい。</li> </ul>
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p>○児童会活動及び生徒会活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登中学校3年目の取り組み～中能登中学校スタイルの確立～</li> <li>1)あいさつ運動</li> <li>2)なかのとネットマナーの取り組み             <ul style="list-style-type: none"> <li>①勉強とインターネットを区別しよう</li> <li>②安全で必要なサイトを見よう</li> <li>③インターネットの利用は21時より前にしよう</li> <li>④お家の方と一緒に、家庭のルールを決めよう</li> </ul> </li> <li>3)各委員会の日常活動、部活動紹介、生徒総会、学級紹介、校内陸上・球技大会、募金活動、全校レクリエーション、平和集会、学校祭、校内百人一首大会</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>○心に響く学校行事や各種体験活動・ボランティア活動への積極的な取り組み</p> <p>①平和集会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成27年8月3日</li> <li>・内容 広島の被爆ピアノが中能登中学校に来る機会に恵まれ、調律師の矢川光則さんの講話を聞いた。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの力で自分たちの学校を作り上げていこうと主体的に行動する様子が見られるようになった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤作りがなされたので、今後も継続して活性化を図りながら活動を進めていきたい。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争や平和に対する関心や理解を深め、平和な未来を築くために、今、すべきことを考えることができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な活動であり、今後も継続していく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実</p>	<p>○いじめ, 非行, 不登校へのきめ細やかな指導及び携帯電話やスマートフォン等の使用への適切な対応</p> <p>①非行被害防止講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットに潜む危険性など情報機器への適切な対応の講演を鹿西小学校, 鹿島小学校, 鳥屋小学校, 中能登中学校で保護者・児童生徒を対象に実施</li> </ul> <p>②薬物乱用防止教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿西小学校, 鹿島小学校, 鳥屋小学校は6年生を対象に, 中能登中学校は全生徒を対象に喫煙や薬物禁止の啓発を実施。</li> </ul> <p>③いじめの問題取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ対応アドバイザー派遣事業を積極的に活用し, 各学校に年間1回から3回派遣             <ol style="list-style-type: none"> <li>1)鹿西小学校 9月14日</li> <li>2)鹿島小学校 9月25日, 12月22日, 3月2日</li> <li>3)鳥屋小学校 10月2日, 2月26日, 3月10日</li> <li>4)中能登中学校 3月9日</li> </ol> </li> <li>・「いじめを見逃さない学校づくり推進事業」を全ての小・中学校で実施, アンケート調査の実施やいじめ対策チームを設置</li> <li>・平成26年9月19日に中能登町いじめ問題対策連絡協議会条例及び中能登町いじめ防止基本方針を制定 中能登町いじめ問題対策連絡協議会を12月9日, 2月9日の2回開催</li> </ul> <p>④非行(暴力)の防止取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いしかわS&amp;Pサポート制度」を活用し, 積極的に警察と連携</li> </ul> <p>⑤不登校児童生徒への対策取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校へのカウンセラー派遣事業や個別指導や別室指導を実施</li> </ul> <p>⑥ネットの諸問題取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・e-ネットキャラバンの推進や, ネットトラブル防止指導資料(CD)などを活用</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非行被害防止講座では, 情報機器の使用について子どもを被害者にも加害者にもしない日頃の親子のコミュニケーションの大切さを学んだ。また, 具体的な話を聞くことができ保護者も危機感を持つことができた。</li> <li>・薬物や, 喫煙の依存性や身体に及ぼす著しい影響について理解した。</li> <li>・いじめ対応アドバイザー派遣事業では, 小学校高学年や中学校の生徒指導に大きな効果があり, 次年度も継続して事業を実施したい。 また, 「いじめを見逃さない学校づくり推進事業」では, 極めて有効にいじめの実態を把握することができた。</li> <li>・条例及び基本方針の制定により, いじめ問題対策連絡協議会を2回開催し, 各校の生徒指導担当者からの事例に対し, 各関係機関からの意見をいただき, 連携を深めることができた。</li> <li>・「いしかわS&amp;Pサポート制度」を活用し, 積極的に警察と連携して非行防止に努めた結果, 昨年度と同様, 生徒指導は落ち着いてきた。</li> <li>・不登校者数は小中併せて26名を数えた。近年の傾向として, 小学校の中学年から不登校児童がみられる。また, 中学校の1年生の不登校が増加したその対策が急がれる。</li> <li>・ネットの諸問題取組については, 学校での携帯等の所持は制限されているが, 一定の効果が見られた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ, 非行, 不登校対策については継続して事業を実施していきたい。</li> <li>・携帯電話やスマートフォンなど情報機器等の児童生徒の利用については, なかのとネットマナーを家庭とも連携し継続して取り組んでいく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実</p>	<p>○道徳教育の充実</p> <p>①いしかわ道徳教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥屋小学校研究発表会</li> <li>1)研究主題 「自分の思いや考えを伝え合い深め合う子の育成 ～家庭・地域と連携した道徳教育を通して～」</li> <li>2)実施日 平成27年10月15日(木)</li> <li>3)場 所 鳥屋小学校</li> <li>4)内 容 公開授業, 全体会, 分科会</li> </ul> <p>○石川県教育委員会指定</p> <p>「学びの組織的実践推進事業」拠点校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)研究主題 『確かな学力の育成』 ～学ぶ楽しさが実感できる授業づくり～</li> <li>2)実施日 平成27年11月26日(木)</li> <li>3)場 所 鹿島小学校</li> <li>4)内 容 公開授業, 全体会, 分科会</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ごとに研究主題のテーマに迫るように研究を進め、取組の成果の普及の場として研究発表会や講演会を実施し、最後に取組の検証を行うことにより児童・生徒の学力向上を図ることができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いしかわ道徳教育推進事業については他の学校で今年に引き続き実施していきたい。</li> </ul>
<p>(4) スポーツの振興</p>	<p>○活動費の助成や大会派遣への支援体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①中学校体育連盟が主催する大会(10割補助),これに準ずる大会(8割補助)派遣費補助を実施</li> <li>②石川県大会は参加費等及び交通費の補助を実施</li> <li>③小学生のスポーツ活動では,石川県小学生陸上競技大会,鹿島郡小学生陸上競技大会,いしかわっ子駅伝交流大会などの参加費等補助を実施</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校では運動部活動指導の工夫改善支援事業を積極的に取り入れ,町独自のコーチ派遣事業と合わせ,スポーツの振興に取り組んだ。全国大会に参加した種目はソフトテニス女子個人,ソフトテニス男子団体,卓球男子個人,剣道男子団体。中でもソフトテニス女子個人が準優勝した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続して実施していきたい。</li> </ul>



項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 安全安心な学校づくり	<p><b>○交通安全意識の高揚と実践</b></p> <p>①ヘルメット助成 ・中学入学時に新1年生全員にヘルメット購入費の全額を補助（該当生徒数182人）</p> <p>②通学路の緊急合同点検の実施 ・小学校では通学路の点検や、児童に対して通学体験などを指導。また、10月26日「中能登町通学路安全プログラム」を策定し、公表した。</p> <p>③見守り隊などボランティア活動の実施 ・街頭指導、児童の登下校の見守り、校区内の夜間巡視など、各小学校PTAと連携をとり通学の恒常的な安全確保に努めた</p> <p>④交通安全教室の実施 ・小学校、中学校で年度初めに警察署安全課職員及び地元駐在所所長を講師に交通安全教室を実施した。とくに小学校は低学年と高学年と分けて実施。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校では区域に関係なく自転車通学を認めているため、従来から入学時にヘルメットを配布し、また交通安全教室を開催するなどして交通事故防止に取り組んだ。</li> <li>・小学校では、関係機関と連携し通学路の安全点検を実施し危険個所の改善に取り組んだ。</li> <li>・「中能登町通学路安全プログラム」が策定されたことにより関係機関との連携も確立され危険個所改善が早くなった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、危険個所の改善、交通安全教室の実施に、今後も事業を継続していく。</li> </ul>
	<p><b>○地震や洪水など天災発生時の避難誘導</b></p> <p>①教頭会での避難対策打合せ実施 ・各学校で年度初めに計画された防災計画に基づいて、年間2回から3回程度の避難訓練を実施</p> <p>②実践的防災教育の実施取組 中能登中学校で「実践的防災教育支援事業」実施</p> <p>1) 避難訓練（火災） 6月24日 2) 防災訓練（避難所開設・設営） 5月9日 3) 防災設備説明会 9月18日 4) 防災教室（金沢地方気象台、学校防災アドバイザー）10月5日</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校危機管理マニュアルの災害安全等の見直し修正を行った。</li> <li>・一斉防災訓練に参加するなどの施策を実施した。</li> <li>・災害拠点施設としての役割、災害発生時対応できる設備の認識、地域の方や防災担当との連携を深めるなど、事業をとおして大きな成果があった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教頭会で引き続き重要テーマとしてとらえ、それらを踏まえ各学校教職員で危機管理意識を共有するなど一層の取組を実施する。</li> <li>・また、学校危機管理マニュアルは、訓練の実施の結果を受け見直し、修正を検討していく。</li> </ul>
	<p><b>○火災や原発事故などへの適切な対応</b></p> <p>①避難訓練の実施 ・避難訓練の実施必須化に伴い、各学校において年間2回から3回程度の学校独自の訓練を実施した。 ・その他、県・町防災訓練などに積極的に参加した。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して行うことができた。また、2校で危機管理マニュアルの原子力災害部分を追加、修正を行った。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町は、災害が比較的、少ないため、防災意識が低い。引き続き、工夫しながら継続していく必要がある。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 安全 安心な 学校つ くり	<p>○防犯教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各小中学校において1回から2回実施した。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防犯教室では不審者を想定した避難訓練, 及び防犯の講和などを実施した。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際に不審者等に会ったときの身を守れるよう, また未然防止できるよう今後も継続して実施する。</li> </ul>
(6) 特別 支援 教育の 充実	<p>○未就学児及び在学児童生徒の相談などの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①県教育相談 平成 27 年 6 月 3 日 (水)</li> <li>②県就学相談 平成 27 年 10 月 6 日 (火)</li> <li>③町就学相談 平成 27 年 8 月 26 日 (水) 平成 27 年 10 月 28 日 (水)</li> <li>④教育支援委員会 平成 27 年 12 月 2 日 (水) 未就学児, 在籍児童及び生徒</li> <li>⑤各小中学校において専門相談の実施</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就学相談を県及び町主催で合計 3 回実施することができ, 保護者の方の相談に対応することができた。</li> <li>次年度の進級, 就学について方向性を話すことができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年々相談件数が増加していることから, 町主催で就学相談を実施している。</li> <li>県の就学相談は, 未就学児を対象, 町の就学相談は, 在籍児童及び生徒の相談と分けることで, 本年度も継続したいと考えている。また, 教育相談は県主催のみであるが, 相談件数が増えるようであれば, 町主催の相談も検討していく必要がある。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(6) 特別支援教育の充実</p>	<p><b>○特別支援学級の充実</b></p> <p>①各小中学校に支援員配置</p> <p>②特別支援教育研修会（1回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成27年4月27日（月）</li> <li>・場 所 ラピア鹿島</li> <li>・対象者 支援学級担任、コーディネーター支援員</li> </ul> <p>特別支援教育研修会（2回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成27年10月22日（木）</li> <li>・場 所 ラピア鹿島</li> <li>・対象者 支援学級担任、支援員</li> </ul> <p>特別支援教育研修会（3回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成27年11月17日（火）</li> <li>・場 所 ラピア鹿島</li> <li>・対象者 コーディネーター、支援員</li> </ul> <p>特別支援教育研修会（4回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成28年2月29日（月）</li> <li>・場 所 ラピア鹿島</li> <li>・対象者 支援員</li> </ul> <p>③保育園訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間3回～4回 町内保育園を訪問</li> <li>・夏休み期間等、町内保育園を小学校教諭と訪問</li> </ul> <p>④年中児訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年1月21日（木）つくし保育園</li> <li>・平成28年1月26日（火）あおば保育園</li> <li>・平成28年2月 5日（金）さくら保育園</li> <li>・平成28年2月17日（水）とりやのの保育園</li> <li>・平成28年2月19日（金）こすもす保育園</li> <li>・平成28年2月23日（火）たんぼぼ保育園</li> </ul> <p>1月から2月にかけて、町内保育園を、専門相談員、保健センター保健師、住民福祉課職員、教育委員会就学担当職員で訪問</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級の整備の充実として支援員を派遣することで、個々に応じた指導及び支援が行われた。</li> <li>・コーディネーターの先生、支援学級担任、支援員を対象に特別支援教育研修会を開催した。情報交換ができ、共通理解が深まった。</li> <li>・小学校の夏休み期間中に、学校と町教育委員会で町内保育園を訪問した。一緒に訪問することで、共通認識を得ることができた。</li> <li>・特別支援教育担当が、町内保育園を訪問した。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、小中学校の連携が大切である。</li> <li>・未就学児を訪問は継続予定である。未就学児だけではなく、27年度からは、保健センターを中心に年中児訪問を実施した。今後も継続予定である。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	<p>○教育委員会の学校ヒアリング</p> <p>1. 日時 平成 27 年 7 月 10 日 (金)</p> <p>14:00～ 鹿西小学校 14:30～ 鹿島小学校 15:00～ 中能登中学校</p> <p>2. 内容</p> <p>(1) 学校経営状況の報告 (2) 教職員と児童生徒が触れ合う時間の確保について (3) 学力向上の取組について (4) O J T 研修の進捗状況について (5) 不祥事防止に係る年間計画の取組について</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の学校経営状況やO J T の取組等について、把握することができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初の試みであったが、各内容について把握することができた。今後とも、定期的にヒアリングを実施していきたい。</li> </ul>
	<p>○教育委員会の学校訪問</p> <p>1. 実施日</p> <p>平成 27 年 9 月 29 日 (火) 鹿西小学校 平成 27 年 9 月 30 日 (水) 中能登中学校 平成 27 年 10 月 5 日 (月) 鹿島小学校 平成 27 年 10 月 9 日 (金) 鳥屋小学校</p> <p>2. 内容</p> <p>(1) 12 月評価問題に向けての具体的取組の進捗状況 (2) 生活習慣     規律的な就寝・起床習慣の定着について (3) 家庭学習     ①家庭学習の質と量の確保の具体的工夫 (実践していることと今後の改善点)     ②9 月の学習時間 (全学年)     ③家庭学習の手引きの活用についての計画 (4) 授業づくり     ①「目標・ねらい」の明確な工夫について     ②「まとめ・振り返り」の明確な工夫について (5) 英語習熟度別少人数授業の授業改善の工夫について (学力の 2 極化を解消する工夫) (6) 部活動と家庭学習の両立について ※(5)、(6) については、中学校のみ。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6 点の内容について、各小中学校の把握をすることができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会が提示した内容について、学校が回答する方法で、学校訪問を行った。委員会として具体的な支援を打ち出すことができる。今後も継続したいと考えている。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	○第1回中能登町総合教育会議 平成27年8月31日(月) 出席者 町長 副町長 教育委員5名 参事3名 町長部局 課長, 課長補佐9名 教育委員会部局 課長, 課長補佐6名 議題 (1) 中能登町総合教育会議の設置について (2) 中能登町教育大綱の策定について (3) 児童館並びに学童保育事業の事務分掌について	【成果】 ・総合会議を通して, 町長ならびに町長部局と今後の教育行政について協議することができた。 【今後の方向性】 ・総合会議の庶務は, 総務課で処理することになり, 町長と教育委員で今後, 教育の様々な案件について, 協議することになる。
	○教育委員による視察 ・実施日 平成27年10月1日～2日 (1) 視察研修 紀宝町井田小学校6年生授業参観 紀宝町鶴殿小学校授業参観	【成果】 ・姉妹町である紀宝町の2小学校を訪問することにより, 両校の学校経営を理解することができた。 【今後の方向性】 ・今後とも, 紀宝町との学校交流を通じて, 両町の学校経営を高めていきたい。
	○姉妹都市「紀宝町」学校教職員との交流 ・実施日 平成27年11月27日～28日 (1) 鹿島小学校, 中能登中学校学校訪問 (2) 両町の学校教育について情報交換を実施	【成果】 ・両町の学校教育の方針, 内容等について理解を深めた。 【今後の方向性】 ・今後は両町の先生方, 児童, 生徒との交流を更に深めていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	<p>○教育委員会連合会研修参加</p> <p>①定期総会講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 27 年 5 月 12 日</li> <li>・演 題 「教員政策の今後の展望」</li> <li>・講 師 文部科学省初等中等教育局 教職員課長 茂里 毅 氏</li> </ul> <p>②教育委員会セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 27 年 8 月 4 日</li> <li>・演 題 「自分は今どこにいるのか」</li> <li>・講 師 北國新聞社論説委員 小倉 正人 氏</li> </ul> <p>③研究大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 27 年 10 月 16 日</li> <li>・演 題 「本県教育の現状と課題」</li> <li>・講 師 石川県教育委員会 教育次長 斉田 正活 氏</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各講演会, セミナーを通して教養を高めた。特に, 茂里毅文部科学省初等中等教育局教職員課長には, 中能登町に来町していただき, 中能登中学校全生徒並びに中能登町教職員を対象に, 文部科学省の取り組みや幅広い教育行政について分かりやすく講演していただいた。</li> <li>また, 木下公司教育長には, 中能登町, 七尾市教職員の合同研修会において, 学校経営の取組について講演があった。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教委連の研修, セミナーについては今後とも参加し, 教育委員の研修を実施したい。また, 教育委員会主催の講演会等も実施し, 見識を広めていきたい。</li> </ul>
	<p>○その他研修参加</p> <p>①中能登町教職員と合同講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 27 年 7 月 3 日</li> <li>・演 題 「文部科学省の取組～教育再生の動向から～」</li> <li>・講 師 文部科学省初等中等教育局 教職員課長 茂里 毅 氏</li> </ul> <p>②中能登町, 七尾市教職員と合同講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 27 年 8 月 18 日</li> <li>・演 題 「学校教育の充実を期して」</li> <li>・講 師 石川県教育委員会 教育長 木下 公司 氏</li> </ul>	

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	<p>○学校行事や学校生活についての情報公開, 行事等の地域住民への参加呼びかけ</p> <p>①ケーブルテレビ (なかのとチャンネル) 放送</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども通信 各小中学校の取組等, 部活動紹介</li> <li>・なかのとスペシャル</li> </ul> <p>②広報掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月発行の町広報に掲載</li> <li>・ホームページ掲載</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や授業, 部活動などについてケーブルテレビで番組枠を設けて放送した。広報, ホームページなどを利用し, 保護者だけでなく地域住民への情報提供を行うことができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫しながら, 継続して情報発信に努める必要がある。</li> </ul>
(9) 中能登らしい学校教育の推進	<p>○区域外通学の弾力的運用</p> <p>①中能登町立学校通学区域規則の一部改正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24 年度施行</li> </ul> <p>②中能登中学校への区域外就学生徒数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 年生 3 人, 2 年生 8 人, 3 年生 6 人</li> </ul> <hr/> <p>○環境教育の充実</p> <p>①児童環境学習活動発表会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 27 年 12 月 1 日</li> <li>・参加者 鹿西小学校, 鹿島小学校, 鳥屋小学校 合計 180 名参加</li> </ul> <p>②MOA 活動</p> <p>時代を担う子どもたちの感動が素直に表現できる「命を尊ぶ心」「心豊かな人間」形成を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会 石川県七尾美術館 平成 27 年 10 月 15 日から 10 月 18 日 ラピア鹿島コンコース移動展示 平成 27 年 10 月 20 日から 10 月 27 日</li> </ul> <p>・上位入賞者数</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 絵画の部 鹿西小学校 3 名, 鹿島小学校 8 名, 鳥屋小学校 3 名</li> <li>2) 書写の部 鹿西小学校 1 名, 鹿島小学校 5 名, 鳥屋小学校 2 名</li> </ol>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学区域規則を一部改正し, 区域外通学の弾力的な運用を実施した。その結果, 児童生徒の希望する特徴のある学校への進学がみられた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は町域内外においても弾力的に運用していきたい。</li> </ul> <hr/> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童環境学習発表会も 7 回目の開催となり, 児童の環境活動への取組が定着し, 地域を巻き込んだ活動ができた。</li> <li>・MOA 活動では豊かな心を育む情操教育の一環として, 作品展に応募し, 上位入賞する成果があった。</li> <li>・いろいろな動物や植物や作物のお世話をとおして, 生命の尊厳を教えることができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境を学ぶ学習姿勢は, 今後も重要と考えられ, 継続して児童に環境を守ることの姿勢を学ばせたい。また, 環境を通して, 生命の尊厳を教えていく。</li> <li>・作品に親しむだけではなく, 児童生徒が真に豊かな感受性を持つプログラムを検討する。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p style="text-align: center;">(10) 夢プロジェクト事業</p>	<p>○夢プロジェクト活動事業</p> <p>①準備会議（2回）、実行委員会、推進会議（4回）を開催し、事業推進の為に組織や活動についての意見交換、活動計画の提案、活動事業を承認し実施した。</p> <p>②取り組みの重点（3本柱）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校：学習、ふれあい、運動</li> <li>・中学校：勉強（学力向上）、生徒会活動、部活動</li> </ul> <p>③長期展望（3期にわたる取り組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第Ⅰ期 開校を飾る（助走）</li> <li>・第Ⅱ期 一気に急上昇（ハイジャンプ）</li> <li>・第Ⅲ期 県下に名高い中学校（充実発展）</li> </ul> <p>④推進組織（専門部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい部会、学力向上部会、部活動運動部会、生徒会部会、PTA部会、生活指導部会</li> </ul> <p>※各専門部会ごとに活動計画を立案し年間計画を立て、夢プロジェクト構想達成のために実践活動を推進する。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢プロジェクト第Ⅱ期の2年目、活動も充実し、学校・家庭・教育委員会・体育協会等が一体となって取り組んだ。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第Ⅱ期の最終年度に向けて、町内全小中学校の充実と、Ⅲ期に向けての方向性を確認する。</li> </ul>



## 2 児童館及び学童保育

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 児童館運営	<p>○児童館運営</p> <p>①各児童館運営の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子どもプランとの連携</li> <li>・各児童館で教室の開催</li> <li>・習字教室, 絵手紙教室, お菓子教室, お話会 運動遊び教室, 折り紙教室, グラウンドゴルフ 教室</li> </ul> <p>②石川県児童館連絡協議会総会及び 第1回石川県児童館連絡協議会全体研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成27年5月28日(木)</li> <li>・テーマ 「児童館のこれからを考える」</li> <li>・講師 鈴木一光氏(一般財団法人 児童健全育 成推進財団 理事長)</li> <li>・参加者 教育文化課, 児童館厚生員参加</li> </ul> <p>第2回全体研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成27年11月9日(日)</li> <li>・テーマ 「集団生活になじめない子実例から学ぶ」</li> <li>・講師 小坂正栄氏(日本ポーテージ協会石川湖 南支部)</li> </ul> <p>第3回全体研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成28年2月16日(火)</li> <li>・テーマ グループ討議「児童館の子どもたち」</li> <li>・講師 小坂正栄氏(日本ポーテージ協会石川湖 南支部)</li> </ul> <p>③能登地区児童館連絡協議会総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成27年6月11日(木)</li> <li>・参加者 児童館厚生員参加</li> </ul> <p>④第1回能登地区児童館連絡協議会研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成27年7月16日(木)</li> <li>・テーマ 「たのしく遊ぼう集団ゲーム」</li> <li>・講師 宮川順子(県レクリエーション協会指導員)</li> <li>・参加者 児童館厚生員参加</li> </ul> <p>⑤第2回能登地区児童館連絡協議会研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成28年2月28日(日)</li> <li>・テーマ 「ネット社会における子ども達の実情と その対策」</li> <li>・参加者 児童館厚生員参加</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各児童館はそれぞれ毎月色々な活動を計画し, 実施している。また研修にも参加している。行事を楽しみに児童館に遊びに来る子がいる。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の下校時間が遅くなっている。</li> <li>・習い事や, スポーツ教室等で児童館平日利用人数が少なくなっている。</li> <li>・平成27年度は, 学校が終わってからでも利用できるように閉館時間を変更した。今後も皆が行きたくなる児童館を目指し, 資質の向上に努めていきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(2) 学童保育事業</p>	<p><b>○放課後児童クラブ運営</b></p> <p>①各放課後児童クラブの実態  とりや放課後児童クラブ  かしま放課後児童クラブ  ろくせい放課後児童クラブ  〔休日〕日曜日、祝日、旧盆、年末年始  〔クラブ料〕児童一人につき月額3,000円  〔保険料〕年額800円</p> <p>②町連絡会  第1回鹿西小学校、ろくせい放課後児童クラブ連絡会  ・実施日 平成27年6月11日(木)  ・小学校、放課後児童クラブの児童の様子  ・気をつけたい児童へのかかわり方  ・「のとべ児童館」での放課後児童クラブ活動について</p> <p>第2回鹿西小学校、ろくせい放課後児童クラブ連絡会  ・実施日 平成27年10月19日(月)  ・小学校、放課後児童クラブの児童の様子  ・放課後児童クラブの取り組み  ・小学校の取り組み  ・集団下校について</p> <p>③石川県放課後児童クラブ団体連絡協議会理事会・総会  ・実施日 平成27年6月30日(金)  ・場 所 石川県地場産業センター 本館  ・参加者 教育文化課、放課後児童クラブ支援員</p> <p>④放課後児童クラブ指導員研修会  石川県放課後児童支援員認定資格研修  ・ろくせい放課後児童クラブ 1名参加  全体研修会参加  ・初任者研修 実施日 平成27年6月17日  ・全従事者研修  実施日 平成27年7月2日  実施日 平成28年2月3日、9日、24日</p> <p>能登中部地区  ・実施日 平成27年11月6日(金)  ・テーマ 「保護者とのコミュニケーション」  ・講 師 阿南健太郎(一財 児童健全育成推進財団業務課長)  ・場 所 ラピア鹿島2階 研修室  ・参加者 教育文化課、放課後児童クラブ指導員</p> <p>その他地区別研修会参加  ・実施日 平成27年9月3日(木) 津幡町  ・実施日 平成27年10月21日(水) 内灘町  ・実施日 平成27年10月2日(金) 七尾市</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用対象は小学校1年生から6年生。</li> <li>・各放課後児童クラブは、それぞれ毎月色々な活動を計画し、実施している。また研修にも参加している。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年4月から新制度になり、利用対象が小学校1年生から6年生となった。</li> <li>・現在、5・6年生の利用は、ほとんどないが、4年生の利用はある。しばらくは、対象年齢が拡大されたことで、どのような運営をすればよいか検討していく必要がある。</li> </ul>

### 3 学校教育の整備充実

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 小学校整備事業	<p><b>○事業の概要</b></p> <p>1. 鹿島小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事名 バス車庫建設工事</li> <li>・場 所 中能登町芹川千部 95 番地</li> <li>・工 期 平成 27 年 5 月 21 日～9 月 30 日</li> <li>・工事費 32,940,000 円</li> <li>・内 容 鉄骨造 平屋建て 139.36 m<sup>2</sup>            建築工事 バス車庫建設, 屋外附帯工事            電気設備工事 電気設備            機械設備工事 散水栓設備</li> </ul> <p>2. 鹿島小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事名 外部便所建設工事</li> <li>・場 所 中能登町芹川千部 95 番地</li> <li>・工 期 平成 27 年 5 月 7 日～9 月 30 日</li> <li>・工事費 21,816,000 円</li> <li>・内 容 鉄筋コンクリート造            平屋建て 48.64 m<sup>2</sup>            建築工事 外部便所・用具庫建設, 屋外附帯工事            電気設備工事 電気設備            機械設備工事 散水栓, 給排水, 換気設備</li> </ul> <p>3. 鳥屋小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事名 屋内運動場防災機能強化工事</li> <li>・場 所 中能登町末坂ナ部 7 番地</li> <li>・工 期 平成 27 年 6 月 22 日～11 月 30 日</li> <li>・工事費 75,502,000 円</li> <li>・内 容</li> <li>・耐震化工事 (補助)           <ul style="list-style-type: none"> <li>建築工事 直接仮設, 外壁改修, 塗装改修, 体育器具撤去, アスベスト除去, 解体撤去</li> <li>電気設備工事 弱電落下防止対策, 照明改修</li> </ul> </li> <li>・建築工事 (単独)           <ul style="list-style-type: none"> <li>建築工事 直接仮設, 防水, 金属製建具, ガラス, 塗装, 内装, 雑, 解体撤去</li> <li>電気設備工事 音響設備更新</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿島地区の 4 小学校を 1 校に統合した鹿島小学校の工事が完成し, 平成 27 年 4 月に開校を迎えた。残るバス車庫, 外部便所について, 今年度完成し全建設事業が完了した。</li> <li>・鳥屋小学校及び鹿西小学校の屋内運動場について防災機能強化工事を実施し完成した。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度には鳥屋小学校校舎及び鹿西小学校校舎の大規模改修工事 (照明, 空調, トイレ, 木床等) を予定している。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 小学校整備事業	4. 鹿西小学校 ・工事名 屋内運動場防災機能強化工事 ・場 所 中能登町能登部下 110 部 20 番地 ・工 期 平成 27 年 6 月 24 日～11 月 30 日 ・工事費 37,044,000 円 ・内 容 ・耐震化工事（補助） 建築工事 直接仮設，撤去運搬，内部改修， 塗装改修 電気設備工事 電灯設備，拡声・電気時計設備， 自動火災報知設備，廃棄物運搬 ・トイレ工事（単独） 建築工事 直接仮設，撤去運搬，内部改修， 塗装改修 電気設備工事 電灯設備，廃棄物運搬 機械設備工事 トイレ改修	

#### 4 文化財

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 文化財保護事業	<p><b>○雨の宮古墳群保存整備事業</b></p> <p>国指定史跡雨の宮古墳群を適切に管理し後世へ確実に継承するための保存整備事業。平成 19 年の能登半島地震及び経年変化に伴う 1 号墳葺石崩落等により、平成 20 年度から 3 ヶ年計画で、保存整備事業を実施し、これまで露出展示していた 1 号墳葺石に保護盛土を行ったが、平成 26 年 8 月 16、17 日の豪雨により、保護盛土が流失したため、今年度は国・県の指導・助言のもと、葺石が露出した部分について再度盛土を行った。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国民の共有財産である国宝・重要文化財等は国庫補助による保存修理が必要に応じ実施される。今年度、国史跡雨の宮古墳群においても同様であり、適切な保存整備が図られたものと考えられる。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も史跡の状況を観察しながら後世に確実に継承するため、国・県・有識者で構成する委員会の指導・助言を仰ぎながら適切な判断と保護措置が講じられるよう進めていきたい</li> </ul>
	<p><b>○指定文化財の保護</b></p> <p>文化財保護審議委員会の開催（4 回）</p> <p>①指定文化財候補の調査研究</p> <p>②指定文化財の保存管理状況の調査</p> <p>③指定文化財の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定・登録文化財 115 件 （うち国指定 4 件，県指定 5 件，町指定 104 件、国登録 1 件）</li> </ul> <p>④指定文化財の維持管理助成（44 件）</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の新指定はないが、これまでに指定した文化財の保存管理の状況を把握すること、また所有者や管理者とも連携をとることがより重要である。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も指定文化財の保存管理状況の把握を順次すすめ、町の文化財が広く周知され、保護されるよう努めたい。</li> </ul>
	<p><b>○文化財古文書等整理作業</b></p> <p>①文化財の一括管理と把握</p> <p>②文化財資料の運搬作業</p> <p>③埋蔵文化財の遺物整理作業</p> <p>④古文書の整理作業</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>合併以降分散保管されていた文化財の一括管理と把握に努めることができた。また新史料の整理と調査を実施している。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も一括管理を進め、展示施設での公開が可能な体制を整える。</li> </ul>
	<p><b>○埋蔵文化財の保護</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開発事業との調整協議（8 件）</li> <li>試掘調査，立会い調査（3 件）</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開発事業との調整が図られるようになり、大規模な開発事業に対しては、試掘調査を実施した。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も適切な埋蔵文化財保護が図られるよう、開発事業者に協力を求めていく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 文化財保護事業	<p>○文化財の活用事業</p> <p>①史跡を訪ねる集い（いするぎウォーク） 開催日 平成 27 年 5 月 3 日 参加人数 132 人</p> <p>③雨の宮古墳まつり（勾玉づくり体験） 開催日 平成 27 年 10 月 17 日 参加人数 115 人</p> <p>④石動山文化活性化事業（歴史講演会、特別展示） ・「文献史料から見た石動山の歴史」 開催日 平成 28 年 3 月 5 日 講師・演題 東四柳史明 氏「中世石動山の歴史と文化」 瀬戸 薫 氏「石動山合戦とその周辺」 参加人数 140 人</p> <p>④出前講座 「歴史と文化の町～中能登町の文化財について～」 (4 件) ・小中学校土曜授業, 社会科見学 (17 件)</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント, 講座等を通して文化財に対する理解が深まったと考えている。出前講座については, 年々定着が図られてきている。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に事業を実施し, 広く文化財に対する理解を深め, 愛護の精神やふるさとに愛着を持っていただけるよう引き続き実施していく。</li> </ul>
(2) 文化財管理運営	<p>○史跡・文化施設の管理状況</p> <p>①石動山</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡公園, 県営能登歴史公園（石動山地区）の施設維持管理, 樹木管理, 除草作業等の実施</li> <li>・大宮坊の管理運営（利用者数 3, 313 人）</li> <li>・石動山資料館の管理運営（入館者数 772 人）</li> </ul> <p>②雨の宮古墳群</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古墳公園, グリーン広場の樹木管理及び除草作業</li> <li>・雨の宮能登王墓の館の管理運営（入館者数 1, 730 人）</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>○指定文化財の説明板設置事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町指定名勝「川田古墳群」の説明板設置</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の保護を図りながら定期的に除草, 樹木管理, 公園施設の維持管理を行なった。また学校教育, 社会教育の場として活用することができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに史跡の普及・啓発に努めるとともに, 展示施設の利用者増加を目指すため, 特別展を実施するほか外部団体とも協力していく。</li> </ul> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな文化財の魅力を掘り起し看板説明文に反映することで, 普及啓発に努めることができた。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 基のみの設置にとどまったが, 文化財保護を図る上では, 看板の設置は急務と考えられる。</li> </ul>

## 5 学校給食

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p style="text-align: center;">(1) 学校給食</p>	<p>○中能登町学校給食センター運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食センター運営委員会開催</li> <li>1)実施日 平成 27 年 6 月 23 日 (火) 午後 4 時</li> <li>2)場 所 中能登町学校給食センター2階会議室</li> <li>3)委 員 教育長, 学校長, PTA 会長, 学校薬剤師</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食の大切さを再認識することができた。</li> <li>・給食費未納世帯に対し, 自宅訪問を行い収納率アップにつながった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食を通じて食育の充実を更に目指していきたい。</li> </ul>

## 6 生涯学習の振興

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 生涯学習センター「ラピア鹿島」の充実	<p><b>○文化芸術活動を通じた交流、発表の場とする</b></p> <p>①町文化まつりの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 平成 27 年 11 月 1 日（日）～3 日（祝）</li> <li>・会 場 ラピア鹿島、カルチャーセンター飛翔</li> <li>・作品展示 41 団体、600 人</li> <li>・入場者 約 5,000 人</li> <li>・芸能発表 42 団体、400 人出演、入場者約 500 人</li> <li>・法楽のつどい、カラオケ大会 入場者約 350 人</li> <li>・お茶席 入場者 200 人</li> <li>・講演会 入場者 200 人</li> <li>・将棋大会 参加者 30 人</li> </ul> <p style="text-align: center;">カルチャーセンター飛翔和室</p> <p>②文化推進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原爆展 約 550 名</li> <li>・自衛隊コンサート（陸上） 約 450 名</li> <li>・町民文化講演会（渡部陽一） 約 400 名</li> <li>・嘉門達夫スペシャルライブ 約 250 名</li> <li>・クリスマスコンサート 約 300 名</li> <li>・ふれあい中能登 2016 年コンサート 約 450 名</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登町文化協会設立 10 周年を記念し、式典も行われ期間も 3 日間に延長して行われた。内容も従来の展示・芸能発表等に加え、「邦楽のつどい、カラオケ大会」も行われ、延べ入場者数も大幅に増え、主催者側の励みとなった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化協会も新たな 10 年を迎えることになり、より自己研鑽に励むとともに、後輩の指導育成にも力を注ぐ必要がある。</li> </ul> <p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化推進事業は延べ 2,400 名が入場した。どの事業も町民に親しんでもらえた。特に「2016 年コンサート」は、七尾・羽咋地区の中学校も加わり、総勢 170 名の合同演奏は、大迫力の演奏会になった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目玉事業の選定で、ターゲットを誰に絞るかが問題である。</li> <li>・太鼓や三味線、民謡等過去に公演していないジャンルをすればどうか課題である。</li> </ul>
	<p><b>○生涯学習の拠点として施設の充実を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①吸収式冷温水機 2 号バーナ部品取替。</li> <li>②冷却水ポンプNo.1 取替。</li> <li>③吸収式冷温水機 1 号真空部品取替。</li> <li>④コロネード屋根修繕。</li> <li>⑤西口内側自動ドア修繕。</li> <li>⑥北面ポーチ屋根雨漏り修繕。</li> <li>⑦非常用発電機、基盤取替。</li> <li>⑧学童保育女子トイレ手洗い器水栓取替。</li> <li>⑨アプローチ屋根雨樋修理。</li> <li>⑩その他修繕工事</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 7 年に開館して、21 年の年月が経っている。経年劣化に伴い、修繕や部品等の取替を行った。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の適切な維持管理を行うとともに、施設利用のモラル喚起を行っていく。</li> <li>・将来的に大規模な改修、修繕計画を立てる必要がある。</li> </ul>



項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) 生涯学習講座の実施	<p><b>○住民のニーズを把握し、学習機会の場を提供する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習講座の実施</li> <li>1) わいわいフェスタ 延べ 70 人</li> <li>2) 園芸講座 延べ 69 人</li> <li>3) からだバランス塾 延べ 92 人</li> <li>4) 3 B 体操 延べ 8 人</li> <li>5) 季節の魚をさばこう 延べ 35 人</li> <li>6) 手芸講座 延べ 79 人</li> <li>7) 白山登山 延べ 56 人</li> <li>8) 生前整理 延べ 50 人</li> <li>9) 切り絵で蓬莱作り 延べ 20 人</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9 講座, 延べ 27 回開催。延べ 479 人が参加。たくさんの町民に学びの場を提供した。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人気のある講座は, 今後も継続する。</li> <li>・感想等アンケートを実施し, 今後の講座メニューに役立てる。</li> <li>・夜間の部も考えて行く。</li> </ul>
	<p><b>○ふるさと学習の充実を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座の実施 (44 種の出前講座を設定)</li> <li>1) 「まだまだ若いもんにはまけんぞ」(すくすく)</li> <li>2) 「消防・防災活動」(総務課)</li> <li>3) 中能登町の観光 (企画課)</li> <li>4) あなたの大切な一票 (総務課)</li> <li>5) 介護予防の話 (地域包括支援センター)</li> <li>6) かしこく食べてカロリーダウン (すくすく)</li> <li>7) 下水道施設を探検しよう (上下水道課)</li> <li>8) 介護の現状と予防 (地域包括支援センター)</li> <li>9) 夢いっぱいネバーランド (情報推進課)</li> <li>10) めざせ! 分別の達人 (保健環境課)</li> <li>11) 町の歴史を知ろう (教育文化課)</li> <li>12) 交通安全教室 (総務課) など</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・47 回申込み。延べ 1, 029 人が参加。1 回平均 21.9 名参加があった。</li> <li>・町内会, 女性会など各種団体に幅広く利用された。特に各地区にある健康サロンの利用が半数以上を占めた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用頻度が多い講座と一度も利用されない講座があるため, 講座項目の見直しを検討する。</li> <li>・住民のニーズに対応した講座の実施を心がける。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p style="text-align: center;">(3) 生涯学習のつどいの実施</p>	<p><b>○自治公民館の事例発表や講演を行い、町民への周知を行うと同時に、お互いが学びあえる学習機会の提供を図る。社会教育委員が主体となり、企画及び運営する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生涯学習のつどい」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>1)日 時 平成 28 年 2 月 21 日 (日)</li> <li>2)場 所 ラピア鹿島「アイリスホール」</li> <li>3)テーマ ふるさとをつなごう あなたの知恵で</li> <li>4)事例発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆発表者 <ul style="list-style-type: none"> <li>i)羽坂・今羽坂自治公民館</li> <li>ii)久江自治公民館</li> <li>iii)武部自治公民館</li> <li>iv)横町自治公民館</li> </ul> </li> <li>◆司会者 <ul style="list-style-type: none"> <li>町社会教育委員</li> </ul> </li> <li>◆助言者 <ul style="list-style-type: none"> <li>町公民館長</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>5)基調講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆演 題 「生きるチカラ、自然のチカラ」</li> <li>◆講 師 清水 国明 氏</li> </ul> </li> </ul> <p>※今年度は開会前に夢プロジェクト「標語・川柳コンクール」表彰式を開催した。</p> </li></ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区の自治公民館活動の状況を周知することができた。</li> <li>・人とのつながりが広まり、お互いが学び合えた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て時代の参加につながるような事業展開を視野に事業を推進していく。</li> <li>・事業がマンネリ化しないように、基調講演等の企画・運営を図る。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価													
(4) 公民館活動の充実	<p><b>○各自治公民館の活動を基盤とする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治公民館活動への助成 (56 地区)</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治公民館活動の活性化に貢献した。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き公民館活動の充実を図る。</li> </ul>													
	<p><b>○活動を通じさらなる連帯感を養い、地域のリーダー育成を図る</b></p> <p>①花いっぱい運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>春の花いっぱい運動           <ol style="list-style-type: none"> <li>実施日 平成 27 年 5 月 24 日 (日)</li> <li>植 栽               <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>サルビア</td> <td style="text-align: right;">3,200 鉢</td> </tr> <tr> <td>マリーゴールド</td> <td style="text-align: right;">3,200 鉢</td> </tr> <tr> <td>マツバボタン</td> <td style="text-align: right;">2,900 鉢</td> </tr> <tr> <td>ベコニア</td> <td style="text-align: right;">3,200 鉢</td> </tr> </table> </li> </ol> </li> <li>秋の花いっぱい運動           <ol style="list-style-type: none"> <li>実施日 平成 27 年 10 月 25 日 (日)</li> <li>植 栽               <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>パンジー</td> <td style="text-align: right;">2,930 鉢</td> </tr> <tr> <td>ビオラ</td> <td style="text-align: right;">2,940 鉢</td> </tr> <tr> <td>チューリップ球根 (赤・白・黄・桃)</td> <td style="text-align: right;">各 1,330 球</td> </tr> </table> </li> </ol> </li> </ul> <p>②各種団体への助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中能登町文化協会           <p>会員相互の学術技芸の習得意欲の向上と、地域社会の文化向上に寄与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>町補助金 2,750,000 円</li> <li>事業内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆年 2 回の文化だより発刊</li> <li>◆文化まつりの開催</li> <li>◆町事業への参加協賛</li> <li>◆県庁ロビーコンサートへの参加</li> <li>◆研修旅行</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>中能登町子ども会連絡協議会           <ol style="list-style-type: none"> <li>町補助金 900,000 円</li> <li>事業内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆全国子ども会安全会への加入</li> <li>◆各地区育成費の助成</li> <li>◆リーダー研修会</li> <li>◆町祭りサイクルバザーの出店</li> <li>◆秋・冬各種球技大会</li> </ul> </li> </ol> </li> </ul>	サルビア	3,200 鉢	マリーゴールド	3,200 鉢	マツバボタン	2,900 鉢	ベコニア	3,200 鉢	パンジー	2,930 鉢	ビオラ	2,940 鉢	チューリップ球根 (赤・白・黄・桃)	各 1,330 球
サルビア	3,200 鉢														
マリーゴールド	3,200 鉢														
マツバボタン	2,900 鉢														
ベコニア	3,200 鉢														
パンジー	2,930 鉢														
ビオラ	2,940 鉢														
チューリップ球根 (赤・白・黄・桃)	各 1,330 球														

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 公民館活動の充実	<p>・中能登町実年会 町実年層の親睦と融和を図りつつ、その教養を高めより良い町づくりの推進に寄与する。</p> <p>1) 町補助金 400,000 円 2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆町内美化活動の実施</li> <li>◆春・秋交通安全街頭指導</li> <li>◆「中能登町実年会だより」の発行</li> <li>◆バス視察研修（金沢方面）</li> <li>◆県政出前講座の開催</li> <li>◆グランドゴルフ大会</li> <li>◆町長と語る会</li> <li>◆ボウリング大会</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化、人口減少、価値観の多元化など社会環境が変容し、地縁組織による伝統的な地域コミュニティの機能が低下するなかで、各地区の実年会員が相互に親睦融和を図りつつ教養を高め、さらに健康の向上を図るとともに伝統文化の保存と継承に努めることにより、町及び地域の発展に資することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町実年会は鳥屋地区から8団体、鹿西地区から1団体の計9団体で、鹿島地区からの加盟は無く、長年の懸案事項となっている。「実りある5,60代」という意味合いからも、今後は男女共同参画の視点から女性協議会などとタイアップにより活動の幅、質を高めた事業に取り組むことにより、各地区における会員の毎年微減の状態からの脱却を最重要課題として取り組む必要がある。</li> </ul>
	<p>・中能登町青壮年協議会 町内青壮年相互の連絡を密にし、青壮年層の活性化を図り郷土の発展に資することを目的とする。</p> <p>1) 町補助金額 350,000 円 2) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆春・秋交通安全街頭指導</li> <li>◆春・秋花いっぱい運動参加</li> <li>◆町民地区対抗ソフトボール大会</li> <li>◆町祭協賛事業</li> <li>◆バス視察研修（珠洲市）</li> <li>◆婚活事業</li> <li>◆町長と語る会</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の定住、独身者に出会いの場の創出を目的として継続的に取り組んできた婚活事業は、これまでに16回を数えた。町男女共同参画推進員の会、町食生活改善推進委協議会、町結婚推進員の会等の協力を得て、今年度は「縁活 in NAKANOTO」と銘打ち、蕎麦打ち体験などの共同作業を通して地域社会及び参加者同士の交流を深めた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活圏の拡大等による地域離れや連帯意識の欠如、価値観の多様化など青壮年層を取り巻く状況の変化のなか、実質的な青壮年層の減少などの理由から、正確な各青壮年団加入団員数も把握できていないのが現状である。今後、各地区青壮年団代表者との連絡調整を強力に推進するとともに具体的な活動につなげるキーパーソンの開拓・取込みにより本協議会の活性化を図るとともに、併せて郷土の発展、伝統に寄与するという団員の意志の醸成が急務となっている。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 公民館活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中能登町女性協議会</li> <li>1)町補助金 2,000,000円</li> <li>2)助成講座講師謝金一部助成 6,000円 (各支部1回/年のみ助成) 27年度実績 13支部 平成27年度支部数 23地区</li> <li>3)主な事業内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆会報11号発刊</li> <li>◆町長と語る会</li> <li>◆中能登地区県政会議</li> <li>◆議会傍聴</li> <li>◆交通安全マスコット配り</li> <li>◆女性のつどい</li> <li>◆敬老会お手伝い</li> <li>◆リサイクルバザー</li> <li>◆交通安全パレード</li> <li>◆女性セミナー</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支部数が減少している中、協議会としての事業は充実しており、行政と連携した取り組みができた。</li> <li>・地域づくりやサポートに資することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口、世帯の減少に伴い、協議会に参加する会員の減少が目立ち、解散する地区支部が出てきている。</li> <li>・町協議会に加盟せずに地区独自で活動している団体もあるため、加盟を働きかけ、全地区の支部設立に力を入れたい。</li> <li>・女性の活躍は町活性化において欠かせないため、今後も支援を行ない支えて行かなければならない。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 青少年の健全育成	<p><b>○家庭や学校、地域との連携を密にし、犯罪のない地域社会を創る</b></p> <p>①青少年問題協議会の開催</p> <p>②巡回補導の実施</p> <p>・学校、PTA だけでなく、県警委嘱少年補導員、七尾鹿島地区高等学校PTA 校外補導連絡協議会、青少年育成推進指導員などの協力のもと行った。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年（中学生及び高校生）の健全育成の推進に寄与した。</li> <li>・日頃からの巡回補導により犯罪件数が減少している。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年協議会の活動回数を増やし、内容の充実を図りたい。</li> <li>・巡回補導は、夏季休業日、年末年始等の特定期だけでなく、年間を通して行うことで青少年による犯罪件数の減少が期待できる。</li> <li>・継続的な事業実施を図る。</li> </ul>
	<p><b>○青少年の地域での社会参加を促す</b></p> <p>①青少年育成推進委員の支援</p> <p>・内閣府、県主催の研修会への参加や町立学校の道徳授業への参加、協力を実施</p> <p>②成人式の実施</p> <p>・実施日 平成 28 年 1 月 9 日（日）午前 10 時</p> <p>・場 所 ラピア鹿島「アイリスホール」</p> <p>・参加者 対象者 182 人、参加者 148 人</p> <p>・式 典</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)開式の辞 教育長</li> <li>2)国家斉唱 新成人代表</li> <li>3)町民憲章唱和 新成人代表</li> <li>4)式辞 町長</li> <li>5)祝辞 知事 県議会議員 町議会議長</li> <li>6)記念品贈呈受領 新成人代表</li> <li>7)二十歳の誓い 新成人代表</li> <li>8)明るい選挙推進決議 新成人代表</li> <li>9)謝辞 新成人代表</li> <li>10)閉式の辞 教育長</li> <li>11)記念撮影</li> </ol>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成推進委員が研修会参加、学校授業（道徳）への参加をとおして、青少年への地域社会参加呼びかけ方法を学習した。</li> <li>・成人式は親睦会で実行委員が中心となり、箱の中身を当てるゲームやビンゴゲームなどを行った。着付けボランティアや、次年度の成人対象者の協力により円滑に進行することができた。成人者には良い思い出と社会構成員としての自覚を促すことができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成推進委員の支援では、七鹿地区、石川県だけでなく地区の研修会へ参加し、多くの情報を得て、中能登町の青少年の育成に協力するよう働きかける。</li> <li>・成人式では、例年参加者が減少してきていると思われる。27 年度は土曜日に行われたということも一つの理由であると思う。今後は多くの成人者に参加してもらうために参加への呼びかけを実行委員会と協力して行なっていきたい。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 国際交流事業の推進	<p><b>○国際化に対応した事業推進を台湾基隆市成功国民中学校との相互交流を通し展開する</b></p> <p>・町国際交流の会への助成</p> <p>台湾基隆市成功国民中学校の生徒 27 名 (男性 10 名・女性 17 名)、引率者 15 名 (林基隆市長、陳成功國中校長他)、計 42 名が来町し、ホームステイを通じて相互交流を行った。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>台湾基隆市成功国民中学校との交流事業をとおして国際化に対応できる人づくりを行い、また海外の学校との交流をもつことでグローバルな視点から物事に対処できるよう育成することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちどうし、中能登町の国際感覚を養うため、今後も更に交流を深めていきたい。</li> </ul>
	<p><b>○次世代を担う児童生徒の国際的視野を身につけるための国際交流を推進する</b></p> <p>・ジャパンテントへの共催並びに実施</p> <p>1) 受入 留学生 7 名</p> <p>2) ホストファミリー 4 ファミリー</p> <p>2) 中能登町交流プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆デザインセンターヴェガ (見学, 体験)</li> <li>◆能登上布会館 (見学, 機織り体験)</li> <li>◆道の駅 (昼食)</li> <li>◆雨の宮古墳 (散策)</li> <li>◆能登テキスタイルラボ (タペストリー製作)</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホストファミリーの方達に留学生との交流をとおして、異文化に触れ、お互いに学び合う良い機会を提供できた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジャパンテント開催を、ポスター・チラシ等を工夫してしっかり周知し、未経験の家庭にもホストファミリーとなってもらえるよう努める。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 図書館の充実	<p><b>○生涯学習の拠点として、町民のニーズに配慮した必要な図書、資料を収集し、町民の読書意欲を喚起する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書購入予算内で、より多くの図書購入ができるよう3図書館で連携し、複本がないように購入。</li> <li>・話題性の高い本は3館で購入するなど工夫している。利用者希望の本が町内図書館で蔵書していない場合は、県内図書館から借り受けすることができるようになっている。また、季節に応じた展示をすることにより、読書意欲を喚起している。</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の希望に応じ、県内図書館から借り受けをすることで、利用者の貸出冊数が増加となった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き利用者のニーズを把握し、町民の読書意欲の増進に努めていく。</li> <li>・図書館統合といった大きな課題もあり、サービスの低下にならないような方策が必要である。</li> </ul>
	<p><b>○読書グループ、図書館ボランティアの資質向上を目指し育成支援を図る</b></p> <p>①図書館ボランティア養成講座（全4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目 平成27年6月16日（火） 「絵本の魅力と読み聞かせ」</li> <li>・2回目 平成27年6月22日（月） 「やってみよう！ブックトーク」</li> <li>・3回目 平成27年7月1日（水） 「おはなしを子どもに～子どもと昔話」</li> <li>・4回目 平成27年7月11日（土） 「おはなし会と楽しい手づくり工作」</li> </ul> <p>②公開読書会（2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏 平成27年8月21日（木） 「眠る鯉～しぐれの実～」伊集院 静/著</li> <li>・秋 平成27年11月26日（木） 「もの食う女」武田 泰淳/著</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座を受講することで、図書館ボランティアとして新たな発見があり、読み聞かせ時に活用できている。</li> <li>・公開読書会を開くことで楽しく意見交換ができ、資質向上を図れた。</li> <li>・様々な事業展開により子どもから大人までが楽しめた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、読書グループ等と連携を取りながら、より多くの方の参加を支援する。</li> <li>・新たな講座を開設するとともに読書人口が増加する仕掛けが必要である。</li> </ul>
	<p><b>○家族での読書の推進を目指し「うちどく（家読）」の推進を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うちどく推進賞を実施</li> </ul> <p>「うちどくノート」町内小学校全児童に配布し、うちどくノート提出順に学校で表彰を実施</p> <p>シルバー賞、ゴールド賞は2月に学校で表彰</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「うちどく賞」(1冊目達成者) (1～4年生 15冊 5～6年生 8冊)</li> <li>2) 「シルバー賞」(2冊目達成者)</li> <li>3) 「ゴールド賞」(3冊目以上達成者)</li> </ol>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度受賞者数 うちどく賞 415人 シルバー賞 108人 ゴールド賞 82人</li> <li>・前年度と比べると、大幅な増加とはならなかったものの、引き続き読書欲の向上につながった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書と親しむための事業を推進する。</li> <li>・学校と連携をとり読書の習慣化を図りたい。</li> <li>・本を読むこと以外にも、図書館や図書室に足を運ぶような仕掛けを行っていく。</li> </ul>



項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 図書館の充実	<p><b>○学校図書館司書と連携、協力し学校図書館の活性化を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館担当者との連絡打合せ会の実施</li> <li>1) 実施日 平成 27 年 5 月 8 日 (金)</li> <li>2) 参加者 学校図書担当教諭、学校図書館司書、町立図書館職員</li> <li>3) 内 容 町図書館の小中学生対象事業について各校の読書指導計画についてボランティアによる朝読書について</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館にない図書、授業で使用する図書を町図書館から借りることで補うことができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館司書の充実を図り、学校図書担当教諭との連携を強化し、児童生徒の学校図書館、町立図書館の利用推進を図る。</li> </ul>
	<p><b>○乳幼児から絵本に慣れ親しんでもらうため、町内に生まれたすべての赤ちゃんを対象に絵本を手渡し、職員が読み聞かせ等を行うブックスタート事業を実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート事業</li> <li>1) 対象児 7ヶ月の乳児 (約 150 人)</li> <li>2) 実施日 保健センターでの7ヶ月児健診時</li> <li>3) 内 容 2冊の絵本を贈呈</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート後に図書館を訪れ、絵本を借りていく親子が見受けられた。親子での絵本の読み聞かせ普及と図書館利用の推進につながっている。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期から図書と慣れ親しむことが大切であることから今後も引き続き事業を実施し、本の楽しさを知ってもらい、図書館利用の推進を行う。</li> </ul>
	<p><b>○3館ある図書館の充実を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算の関係上、複本がないよう図書を購入しているが、どこの図書館でもその図書を借りることができるよう予約を受け付けている。また、町内の図書館で借りたものは、借りた図書館でなくても返却できるようにしている。</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書の予約受付をすることで、利用者が足を運びやすい図書館で貸出しをすることができ、利用者の負担軽減となっている。</li> <li>・図書の貸出しだけではなく、各図書館でのおはなし会やいろいろな行事を行うことで多くの利用者(子どもからお年寄りまで)が利用しやすい場を提供できた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズにあった運営を図書館のあり方や事業について検討していく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(7) 図書館の充実	<p><b>○学校読み聞かせボランティアの実施</b></p> <p>・各学校からの依頼により, 各小中学校での朝昼読書タイムに読み聞かせボランティア (約 20 人) が月 1 回読み聞かせを行った。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>・読み聞かせを行うことで, 児童生徒の読書への関心が高められた。</p> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <p>・読み聞かせは, 心のケアにもつながる利点があるため, ボランティア人数が減少傾向ではあるが, 今後も読み聞かせボランティアの募集を図り, 事業を継続する。</p>
	<p><b>○図書館講座や行事を実施</b></p> <p>(一般向け)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本講座</li> <li>・文学講座</li> </ul> <p>(児童向け)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館講座</li> <li>・絵本の中の料理教室</li> <li>・クリスマスおはなし会</li> <li>・ぬいぐるみおとまり会</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <p>・各種講座や行事を行うことで, 図書への関心が高められた。また, 図書館利用の向上にもつながった。</p> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <p>・図書との関わりを広く持ってもらえるよう, 今後もさまざまな講座や行事を推進していく。</p>
	<p><b>○おはなし会の実施</b></p> <p>・おはなし会ボランティアによるおはなし会を各図書館にて定期的実施</p> <p>「鳥屋図書館」ピノキオ (第 1 土曜日)</p> <p>「鹿島図書館」のんたん (第 4 土曜日)</p> <p>「鹿西図書館」ボランティアーズ (第 2 土曜日)</p> <p style="padding-left: 40px;">ミニおはなし会 (毎週木曜日)</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>・おはなし会を行うことで児童への絵本への関心, 地域の方が実施することで, 地域とのふれあいの場につながると思われる。</p> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <p>・今後も, おはなし会を実施し, 児童に図書への関心を深めてもらいたい。</p>

7 生涯スポーツの振興

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) ジュニアスポーツクラブの充実	<p><b>○スポーツ少年団, ジュニアスポーツクラブの活動を支援し, 子どもたちの心身を育てる</b>                      ・ジュニアスポーツ教室の開催</p> <p>26教室を実施し, 各教室年間100日から300日を超える日数の活動を行った。各教室には育成費や大会派遣費を補助し, その活動を支援している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 鹿西剣道教室</li> <li>2) 鹿島少年剣道教室</li> <li>3) 中能登柔道教室</li> <li>4) 中能登町少林寺拳法クラブ</li> <li>5) とりやアスリート倶楽部</li> <li>6) 中能登ジュニア体操クラブ</li> <li>7) 鹿西サッカースポーツ少年団</li> <li>8) かしまFC</li> <li>9) 中能登ジュニアトランポリンクラブ</li> <li>10) 中能登フェニクス (ミニバスケ男子)</li> <li>11) 中能登町ミニバスケットボールクラブ女子</li> <li>12) 鹿西学童野球クラブ</li> <li>13) 鳥屋学童野球クラブ</li> <li>14) 鹿島学童野球クラブ</li> <li>15) 鹿西卓球スポーツ少年団</li> <li>16) 鳥屋クラブ (卓球)</li> <li>17) 卓球教室 かしまクラブ</li> <li>18) とりやソフトテニスクラブ</li> <li>19) 鳥屋バドミントクラブ</li> <li>20) バドミントクラブ かしま</li> <li>21) バレーボール女子</li> <li>22) 極真 中能登カラテ</li> <li>23) 中能登ドリームズ (ミニバレー女子)</li> <li>24) なかのとジュニアソフトボールクラブ</li> <li>25) ジュニア空手道教室</li> <li>26) 武道教室 山口道場</li> </ol>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧町からの伝統競技も引き続き熱心に活動し, また近年人気のサッカー, 陸上などにも人気が集まっている。</li> <li>・熱の入った指導のもと, 中には全国大会に出場している教室も多くみられる。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総児童数に対する加入率は 47.5% とまだ低い状況で, 夢プロジェクトとも連携のもと, 加入率の向上を目指す必要がある。</li> </ul>
	<p><b>○ジュニアスポーツクラブ指導者育成派遣を行い, 指導者の資質向上を図る</b>                      ・JBA 公認コーチ養成講習会 D 級にミニバス男子指導者 2 名を派遣</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が資格を取ることで, 指導力の向上及び協議会への出場が可能となった。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でも多くの指導者養成のため, 講習会等への受講を幅広く呼び掛けていく。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) 地域スポーツの振興	<p><b>○体育協会やスポーツ推進委員との連携を図り、地域スポーツの推進を図る</b></p> <p>①体育協会は 22 競技団体を指導及び各種の補助をし、ジュニアから一般世代までの競技力向上を目指している。特に町民大会の開催については、大会開催費を補助し、大会運営に大きく寄与している。また、県民体育大会では各競技団体及び出場種目選手に手厚い補助をし、競技力向上及び町の知名度アップに尽力している。</p> <p>②スポーツ推進委員会は 15 名で組織され、各小学校の PTCA 活動やスポーツ活動、町スポレク祭(ウォークラリー)の企画運営、北陸地区、県、中能登地区の研修会に参加し、その技量のアップに尽力し、町及び地域のスポーツの推進に尽力している。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技の指導強化により、ジュニアにおいては 42 人を全国大会に選手派遣し、一般競技においても延べ 31 人の全国大会出場選手を輩出している。</li> <li>・高校総体、国体出場選手には懸垂幕を掲揚し、選手の健闘を讃えた。</li> <li>・PTCA 活動では、ドッジビーやフライングディスク、キンボール等のニュースポーツの普及に尽力した。</li> <li>・ウォークラリーは頭と体を使い、健やかな気分でウォーキングを堪能することができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会においては、一層の競技力向上を目指し、チャンピオンスポーツとして更なる好成績を目指すべく、選手育成に尽力する。</li> <li>・体育施設の適切な維持管理整備を行う。</li> </ul>
	<p><b>○スポーツレクリエーション祭の充実を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員が企画運営するウォークラリーをメインに町民駅伝、町民剣道、町民ソフトボール、町民グラウンドゴルフ、町民ソフトテニスなどの各種大会、ふれあいテニスを実施。</li> </ul> <p>その他体力測定や健康コーナーも実施。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月のさわやかな気候のもと、ウォーキングをとおして、心身のリフレッシュを図ることができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォークラリーの参加者が年々減少しており、募集の仕方に工夫が必要。</li> </ul>
	<p><b>○県民体育大会への参加競技の拡大を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぎなた、オリエンテーリング、セーリング、フィールド射撃、綱引きなど近年参加競技が増えたが、かつて参加していたウエイトリフティング、ラグビーなどの再度出場に向け選手発掘を実施</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加競技増加によりスポーツ奨励賞とスポーツ振興賞を受賞している。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる参加競技拡大のため、かつて出場できた競技の選手発掘に努め、各競技団体に呼び掛ける。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) スポーツ施設の整備・充実	<p><b>○スポーツ施設の統廃合</b></p> <p>①平成 24 年度 テニスコート解体（二宮あおば台）</p> <p>②平成 25 年度 鹿島水泳プール解体 鳥屋体育館解体 鳥屋武道館弓道場解体 碁石が峰マレットゴルフ場解体</p> <p>③平成 26 年度 鳥屋相撲場解体</p> <p>④平成 27 年度 勵志館解体</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽施設の解体を実施し、管理費、修繕費の圧縮が図れた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ施設建築から約 35 年から 40 年経過し、修繕に係る費用が増大している。安全に利用できるように計画的な修繕が必要である。</li> <li>将来を見据えた公共施設活用指針の策定を行い、施設利用の位置づけ、多機能複合化でサービスの向上を目指し、施設の適正な維持管理を行う。</li> <li>施設の利用者に維持管理費の一部負担を義務付ける料金改定を実施し、適正な施設運営管理を行う。</li> <li>利用者が安全かつ安心して利用できるように保守管理と速やかな修繕に対応し、管理施設の縮減が利用者の減少にも繋がるため、町民がスポーツやレクリエーションに親しめる環境づくりを推進し、スポーツ施設の効率的な管理運営と整備を図る。</li> <li>公共施設が主たる目的以外にも活用できる生活環境整備にも取り組む。</li> </ul>
	<p><b>○スポーツ施設の二次的活用</b></p> <p>①災害時の避難所対応に備え、太陽光発電施設の整備を実施。</p>	
	<p><b>○施設の耐震化及び大規模改修</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鹿島体育センター大規模改修工事 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 建築躯体の耐震化の向上</li> <li>2) アリーナの音響改善</li> <li>3) 照明器具の LED 化</li> <li>4) 衛生設備の改善</li> <li>5) 多機能設備の充実（多目的トイレなど）</li> <li>6) トレーニング器具の充実</li> <li>7) 防災設備の充実（自家発電）</li> </ol> </li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化したスポーツ施設設備の充実を図ることができた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の更新は、優先順位をつけたうえで実施していく。</li> <li>利用者が安全かつ安心して利用できるように保守管理と速やかな修繕が課題である。</li> <li>事業の縮小は、設備の充実に相反し利用者の減少にも繋がるため、町民がスポーツやレクリエーションに親しめる環境づくりを推進し、スポーツ施設の効率的な管理運営と整備を図る。</li> </ul>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 指導者の養成と選手の育成	<p><b>○体育協会と連携し、指導者の指導力向上及び選手の育成に努める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の技術向上、選手の育成</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトテニス、バスケットボール、ソフトボールなどの指導者育成を担った。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全競技において若い世代の指導者の養成が必要である。</li> </ul>
	<p><b>○全国大会等に出場する選手の支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ジュニア全国大会 (17大会 延42人出場)</li> <li>②全国高校総体 (14人出場)</li> <li>③国民体育大会 (7人出場)</li> <li>④その他高校生の全国大会 (3大会 12人出場)</li> <li>⑤一般全国大会 (9大会 延22人出場)</li> <li>⑥国際大会出場 (1人出場)</li> </ul>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数多くの全国大会出場者を輩出できた。</li> <li>・他市町に比べ優遇された補助金制度により、選手の負担を軽減できた。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会等出場には交通費、宿泊費、栄養費など多額の費用が必要なため、町からの補助金は引き続き継続する。</li> </ul>

## II 教育委員の主な活動

時期	各種会議・関係行事等	開催場所及び参加者数等
平成 27 年 4 月	異動教職員辞令伝達式 鹿島小学校開校式，小中学校入学式 鹿西高等学校入学式 石川縣市町教育長会議 石川縣市町教育員会連合会理事会 土曜授業教育委員訪問（平成 28 年 2 月まで）	ラピア鹿島【5 名】 小学校 3 校，中学校 1 校【5 名】 鹿西高等学校【教育長】 金沢市庁舎【教育長】 金沢市庁舎【委員長】 各小中学校【5 名】
5 月	石川県教育委員会連合会定期総会 町立小学校運動会 町 PTA 連合会定期総会 夢プロ実行委員会 七鹿中学校陸上競技大会 全国町村教育長会総会・研究大会	金沢市教育プラザ富樫【5 名】 小学校 3 校【5 名】 ラピア鹿島【教育長】 ラピア鹿島【5 名】 城山陸上競技場【5 名】 東京都【教育長】
6 月	町教育長研修会	川北町【教育長】
7 月	小中学校訪問 県中学校体育大会応援 小学校水泳交歓会	各小中学校【5 名】 県内各会場【5 名】 鳥屋学園プール【委員長】
8 月	鹿島小学校開校記念行事 縣市町教育委員会セミナー 町戦没者慰霊式 石川県民体育大会応援 東海北陸地区町村教育長研究協議会 学校経営研修会 町 PTA 連合会と教育委員会との懇談会 総合教育会議	鹿島小学校【5 名】 KKR ホテル金沢【5 名】 ラピア鹿島【5 名】 各会場【5 名】 岐阜市【教育長】 ラピア鹿島【5 名】 中能登中学校【5 名】 ラピア鹿島【5 名】
9 月	石川縣市町教育委員会連合会理事会 紀宝町ソフトテニス交流 教育委員学校訪問	KKR ホテル金沢【委員長】 紀宝町【委員長、教育長】 中能登中学校【5 名】
10 月	教育委員視察研修 教育委員学校訪問 東海北陸地区町村教育長研究協議会 町 PTA 連合会研究大会 いしかわ道徳教育推進事業発表会 石川縣市町教育委員会連合会研究大会 中能登中学校学校祭	紀宝町【5 名】 鹿島小、鳥屋小学校【5 名】 福井市【教育長】 ラピア鹿島【教育長】 鳥屋小学校【5 名】 川北町【5 名】 中能登中学校【5 名】
11 月	豊かな心を育むタウンミーティング in 志賀 石川縣市町教育長会教育長研修会 町小学校機械運動交歓会 紀宝町教職員来町受け入れ	志賀町役場【教育長】 KKR ホテル金沢【教育長】 鳥屋小学校【委員長】 鹿島小、中能登中学校【5 名】
12 月	第 1 回いじめ問題対策連絡協議会 鹿西小保護者との懇話会	鳥屋庁舎【委員長、教育長】 鹿西小【5 名】

時期	各種会議・関係行事等	開催場所及び参加者数等
平成 28 年 1 月	中能登町成人式	ラピア鹿島【5名】
2 月	中能登中学校立志式 石川縣市町教育長会議 新任教育委員研修 第 2 回いじめ問題対策連絡協議会 生涯学習のつどい	ラピア鹿島【5名】 教育プラザ富樫【教育長】 教育プラザ富樫【1名】 鳥屋庁舎【委員長、教育長】 ラピア鹿島【委員長、教育長】
3 月	町立中能登中学校卒業証書授与式 町立小学校卒業証書授与式	中能登中学校【5名】 小学校 5 校【5名】
通年	中能登町議会定例会, 臨時会及び各常任委員会 その他関係方面からの会議, 行事出席依頼による参加	中能登町議会議場及び会議室 【教育長】



Ⅲ 平成27年度決算（教育委員会）の概要

1 目的別内訳

（単位：千円）

区 分	平成27年度		平成26年度		増 減 額 A-B	増 減 率 $\frac{A-B}{B}$
	決算額 A	構成比 %	決算額 B	構成比 %		
教 育 総 務 費	396,362	31.72	2,069,714	67.39	▲ 1,673,352	▲ 0.81
小 学 校 費	213,180	17.06	153,282	4.99	59,898	0.39
中 学 校 費	60,602	4.85	77,674	2.53	▲ 17,072	▲ 0.22
社 会 教 育 費	274,373	21.96	233,048	7.59	41,325	0.18
保 健 体 育 費	305,148	24.42	537,367	17.50	▲ 232,219	▲ 0.43
うち体育施設費等	231,032	18.49	454,347	14.79	▲ 223,315	▲ 0.49
うち学校給食費	74,116	5.93	83,020	2.70	▲ 8,904	▲ 0.11
計	1,249,665	100.00	3,071,085	100.00	▲ 1,821,420	▲ 0.59